

余土地区まちづくり通信 Vol.90



平成30年8月1日発行

余土地区まちづくり協議会（〒790-0044松山市余戸東4丁目4-34）

電話番号：090-8979-4101 メールアドレス:yodom4010@gmail.com

HPアドレス：<http://www.yodo-machikyou.net/>

若松進一さんを迎えて「まちづくり講演会」開催

余土地区まちづくり協議会では、5月29日（火）の総会終了後に、元双海町教育長で観光カリスマに認定されている若松進一さんを講師に迎え「まちづくり講演会」を開催しました。



講師の若松さんは、双海町の夕日を地域資源として“まちづくり”を実践した方として、またお話が面白いということで有名な方です。

今回の講演では、①まちづくりの視点②街中のまちづくりのポイント③これからのまちづくりで大切なこと④人づくりの4つについてお話をされました。その中で、

- (1) まちづくりは、「楽しいこと」「新しいこと」「美しいこと」が重要なポイントである。
- (2) まちづくりは、無関心層を言えばやる人へ、言えばやる人を言われんでもやる人へ、言われんでもやる人をリードする人へワンランク・アップ（格上げの教育）することである。
- (3) 地域力を高めるために、①時間的②人間的③空間的④経済的⑤文化的⑥安全・安心のゆとりを確保するために努力する必要がある。
- (4) まちづくりは、これからどう生きるのかという生き方、なんのために生きているのか、未来のためにどんなことをすればいいのかという視点が必要であるというお話が印象的でした。



8月新刊のお知らせ

余土公民館図書室の「まちづくり文庫」に下記の図書を購入しましたのでご利用ください。

余土公民館図書室は、毎週月曜日と金曜日の10時から12時に開館し本の貸出（貸出期間：2週間）を行っています。

図書名（著者名）	図書名（著者名）	図書名（著者名）
※1 薬に頼らず病気に克つ…（高浜はま子）	ぼくにできること（土屋りゅういち）	庭（小山田浩子）
いただきます（新井洋行）	決断のとき（小泉純一郎）	私はあなたの記憶のなかに（角田光代）
異邦人（原田マハ）	泣きかたをわすれていた（落合恵子）	極上の孤独（下重暁子）
ぜったいにおしチャダメ？（ビル・コッター）	未来（湊かなえ）	ひとり（瀬戸内寂聴）
万引き家族（星枝裕和）	森のおくから（レベッカ・ポンド）	きみ、なにがすき？（はせがわさとみ）
こんびら狗（今井恭子）	※2 がっこうだって…（アダム・レックス）	奮闘するたすく（まはら三桃）
レイナが島にやってきた！（長崎夏海）	チンギスI 火眼（北方健三）	チンギスII 鳴動（北方健三）
ののな通信（三浦しおん）	ばかっ（森あさ子）	エメラルドのさがしもの（そのだえり）



※1 「薬に頼らず病気に克つ最強の食事術」 ※2 「がっこうだってときどきしてる」

各地区・団体からの情報コーナー

余土子育てサロン「出合の河原でバーベキューと水鉄砲遊び」

余土地区社会福祉協議会と余土公民館共催の「余土子育てサロン」が7月14日（土）に重信川の出合橋河川敷で「バーベキューをして河原で遊ぼう」をテーマにして行われました。



この「子育てサロン」は、子育て中の親子の皆さんが気軽に集まって、ふれあいを通して仲間づくりの輪を広げ、安心して楽しく暮らせる地域となることを目的に毎月開催しています。

当日は、集まった子どもたちは河原で「水鉄砲」を使った遊びを楽しみました。まず最初は、グループに分かれて、ロープに吊るした5枚の半紙を狙って水鉄砲で早く落とすゲームをしました。



次は、個人別に「木」の的を水鉄砲で倒すゲームをしました。短い距離では簡単に倒せたので、距離を長くしたりして工夫しながらゲームを楽しみました。ゲームをしている間に、社会福祉協議会の皆さんがバーベキューの準備をしていましたが、その準備も整い、みんなで河原でバーベキューを楽しみました。

団体紹介④

松山市子ども総合相談センター事務所「余土事務所」のご案内

育児に不安がある、相談できる人がまわりにいないなど、18歳までのお子さんのことでお困りのこと、心配なこと、ひとりで悩まないでご相談ください。

子どもたちの健やかな成長発達を応援しています。

所在地：松山市余戸東四丁目1-19（旧余土中学校跡3階）

電話：089-972-2577

FAX：089-972-2578

開設時間：月～金曜日 8時30分～17時（土曜、日曜、祝日、年末年始は休み）



《ほっとHOTタイム》

松山赤十字病院のカウンセラーを交えて話し合う会です。

子育てで知りたいことや困っていることを聴いたり伝えたりすることで、ひとりじゃないとほっとしたり、生き生きとした自分を発見したりして楽しく子育てしていきましょう。

	日時	テーマ	申し込み受付期間
第1回	11月13日(火)	親と子のコミュニケーション	10月15日(月)～10月22日(月)
第2回	12月11日(火)	豊かな感情をはぐくむ関わり	11月12日(月)～11月19日(月)
第3回	1月15日(火)	自立心を育てる関わり	12月10日(月)～12月17日(月)
第4回	2月12日(火)	子どもと遊び	1月16日(水)～1月23日(水)
第5回	3月12日(火)	子どもの心の発達と関わり	2月13日(水)～2月20日(水)

申し込み・問い合わせ先：松山市子ども総合相談センター事務所（萱町事務所）

電話：089-922-2399 FAX：089-922-2150

定員：10名（多数の場合は抽選です。） 託児あり

余土の句碑巡り⑤

「草茂みベースボールの道白し」

正岡 子規 (松山中央公園坊っちゃんスタジアム横)

明治29年夏の句。句を刻んだ横に「ここ松山の地に野球を伝えたのは正岡子規であると言われる。明治二十年代のはじめ、子規はアメリカから伝わったベースボールに熱中し、古郷松山の友人知己にこれを教え自らも左利きのキャッチャーとして活躍した。また、新聞紙上にベースボールを紹介・解説する連載記事を執筆し、俳句・短歌・小説などの題材にも取り入れ、その面白さを広く世に推奨した。



子規には、幼名の升 (のぼる) にちなんだ「野球 (のぼる)」という雅号もある。

「坊っちゃんスタジアム」は、学生時代からの親友夏目漱石の名作に由来する名称で、子規が野球に注いだ情熱は、この球場に永く 生き続けることであろう。」と書かれてある。

子規はこれらの功績により平成14年野球殿堂入りを果たす。

坊っちゃんスタジアムの一角には「の・ボールミュージアム」という展示施設も併設。また、球場最寄りのJR市坪駅も「の・ボール駅」の愛称で呼ばれています。



余土公民館だより

第27回余土地区グラウンド・ゴルフ大会 「余戸東B」優勝！！

6月3日(日)にさくら小学校で第27回グラウンド・ゴルフ大会が各地区から合計18チームの90名の選手が参加して開催され、好天の中、熱戦が繰り広げられました。

その結果、3チームが206打の同スコアとなる接戦となりましたが、同スコアの際は、該当チームの最少合計打数プレーヤーを比較し、少ないプレーヤーがいるチームを上位とする規定に

より優勝は余戸東Bチーム、2位は保免Aチーム、3位は市坪Aチームとなりました。

また、個人戦の優勝は35打の玉井英樹さん(余戸東)、2位は36打の荒木正勝さん(保免西)、3位は36打の網干肇さん、(余戸中)となりました。



第30回松山市民グラウンド・ゴルフ大会 開催結果

松山市主催の「松山市民グラウンド・ゴルフ大会」が7月1日(日)に松山中央公園運動広場において、市内の32の公民館から61チームが参加し開催され、余土地区から余土地区グラウンド・ゴルフ大会で優勝・準優勝の余戸東チーム(余土公民館A)と保免チーム(余土公民館B)が出場しました。結果は、保免チームが205.点のスコアで23位、余戸東チームが212.点のスコアで34位となりました。なお、久枝公民館A(スコア171.点)が優勝しました。

第17回余土地区スマイルボウリング大会 「余戸西A」優勝！！

7月15日（日）に余土公民館体育室において第17回余土地区スマイルボウリング大会が開催され、6地区（各2チーム）から12チームの約90名の選手が参加し、熱戦を繰り広げました。

予選リーグは、4ブロックに分かれて3チームによる総当たりの試合が行われ、それぞれの1位の余戸西A、余戸中A、保免B、余戸中Bの4チームが決勝トーナメントに進みました。準決勝は、余戸西Aと余戸中Aが17対30で余戸西Aチーム、保免Bと余戸中Bが27対36で保免Bチームがそれぞれ勝利し決勝に進みました。



決勝の余戸西Aと保免Bの試合は、35対42で余戸西Aが勝利し優勝し、保免Bチームは準優勝となり2連覇はなりませんでした。3位決定戦は、余戸中Aと余戸中Bの余戸中同士の対戦となりましたが、18対22で余戸中Aチームが勝利し第3位となりました。

第56回松山市青壮年ソフトボール大会

余土チームはベスト8で敗退



第56回松山市青壮年ソフトボール大会が、7月22日（日）に北条文化の森において開催されました。

余土地区チームは、1回戦は雄郡地区と対戦し、最終回にさよなら勝ちの8対7で勝ちました。2回戦は、小野地区と対戦し、6対6の同点のまま時間切れとなり、規定によるジャンケンで勝ち、準々決勝に進みました。

しかし、準々決勝は荏原地区と対戦し、2対13で敗れ、今年の大会はベスト8で終わりました。

《ふるさと学級》 市坪で「交通安全教室」開催！！

7月26日（木）に市坪分館において、松山南交通安全協会の協力のもと、松山南警察署署員を講師に迎えて「交通安全教室」が開催されました。当日は、連日の猛暑続きの中市坪地区の約40名の皆さんが参加され、熱心に聞き入っていました。まず、昨年度の松山南警察署管内の交通事故は、毎日17件（物損15件、人身2件）の割合で発生している報告があった後、交通安全についての具体的なお話がありました。



《自転車に乗る場合》

- ヘルメットを着用することで命を守った事例が多いので必ずヘルメットを着用すること
- 事故の多くは一時停止をしないことが原因で、一時停止して見たといっても、「チラ見」ではほとんど見えていないので左右の確認を確実にすること

《自動車を運転する場合》

- 横断歩道を通る時に見ているには前方のみで、右側から渡ってくる人は見えていないので右側をよく見ること
- 車は急に止まれないことを十分認識し、速度制限を守ること

